

さいたま市立南浦和中学校  
学校運営協議会  
会長氏名 秋本清一

学校運営協議会による評価（協議会の委員の意見等）

1 学校経営について

- ・校長先生、先生方が生徒のために授業をはじめ、部活動、生活指導と本当に一生懸命熱心に取り組んでいる様子が生徒から見て取って分かる。生徒の主体性や自主性を引き出す工夫が感じられる。
- ・生徒、教員、保護者が課題意識を持ちながらの伸び伸びと学校生活を送っていることを実感している。
- ・コロナ禍において様々な対応に追われたこと、それに対して誠実に情報提供していることから、生徒・保護者・地域の方々に安心と信頼が生まれている。
- ・学校の情報をスピードをもって詳しく丁寧に提供され、信頼関係の構築に繋がっていると実感する。
- ・コロナ禍で価値観が大きく変わっている。子どもたちに寄り添う姿勢も含めて、慎重に丁寧に適切に対応している点が素晴らしい。大切にしながら貫きたい。
- ・コロナ禍の中学校に行く機会が少ないので若干情報が入りにくいところがある。そういった状況も踏まえて情報発信や情報提供の方法を工夫できるとよい。

2 生徒の様子について

- ・卒業生が小学校に来校し中学校生活の話をする姿は、とても堂々としていて成長している姿を実感した。
- ・あいさつ運動で来校する卒業生や弟妹の話から、穏やかで年下の子に優しく接する様子が伝わってくる。
- ・とても落ち着いて学校生活を送っている。欲を言えば、個性豊かな生徒が増えると良いかな。
- ・学校行事だけでなく、もっと普段（通常生活中）から交流できるような工夫があればよいと思う。

3 その他

- ・毎月の「南浦和中学校だより」で南中生の事を知るくらいだが、校長先生のあたたかい言葉や文章から生徒達を見る気持ちが伝わってきて読むのがとても楽しみである。
- ・進学予定の小学生に対し円滑な接続が図れるようにと、さわやか相談員さんの面談を計画する等積極的に関わり連携を大切にする姿勢が伝わってくる。
- ・会議のメンバーに、保護者の方、地域で活動している方が少ない気がする。あまり人数が多いのも考えものだが三つの地域のバランスの良さも検討するとよい。
- ・学校と地域の顔はある程度見えるが、生徒・PTA・保護者の顔が余り見えなく意見が聞けない。聞く機会が欲しいという点も含めて、地域との連携をさらに工夫することが必要。

学校運営協議会による評価を受けた学校の対応

- ・日頃から「報告・連絡・相談・見届け・確認」を密にし、全職員間の情報交換・意思の疎通を密に行う組織体制を構築する。特に、「初動」は丁寧かつ迅速に行い、常に生徒と向き合い、寄り添い、事実をしっかりと受け止めて対応する。
- ・生徒の実態を把握し、興味・関心を高めるとともに、①指導の個別化、②学習の個性化、③協働的な学びの実現を目指し、引き続き、学力、表現力・発表力の向上を目指す。

南浦和中学校  
校長氏名 寺内啓容